



にかほ市 学校環境適正化基本計画 を策定しました

計画策定までの経緯

にかほ市では児童生徒数の減少が続いていて、市内すべての小中学校において小規模化が進んでいます。（表1・2参照）

そこで、令和4年10月からPTA関係者や未就学児保護者、自治会長等で構成する「学校環境適正化検討委員会」において、今後の小中学校のあり方について検討を重ね、令和5年3月に市教育委員会に対して提言書が提出されました。この提言内容を尊重しながら「にかほ市学校環境適正化基本計画（案）」にかほ市小中学校再編案」をまとめ、その内容について各地域で計7回の意見交換会を開催しました。さらにパブリックコメントを実施し、寄せられた意見に考え方を回答したうえで、令和6年4月の教育委員会において承認され、「にかほ市学校環境適正化基本計画」の策定となりました。

学校をとりまく課題と適正化の必要性

本市の学校をとりまく課題は、児童生徒数の減少による全体としての小規模化が挙げられます。少人数教育は効果的であるものの、学校では教科書等による知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題

解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要となります。このような教育活動を十分に行うには、一定規模の集団が確保され、経験年数や専門性、男女比等バランスのとれた教職員が配置されることが望ましいと考えられますが、そのためには一定の学校規模を確保することが重要となります。こうした課題を解決するにあたっては、よりよい教育環境を子どもたちに提供することを最優先に、小中学校の規模や配置の適正化を図る必要があります。

小中学校の現状と見通し

本市の小中学校の現状は、令和6年4月現在、小学校4校のうち、平沢、象潟の2校では全学年でほぼ2学級の複数学級を維持しています。が、院内、金浦の2校は1学年1学級となっています。中学校3校のうち仁賀保、象潟の2校で2学級以上となっていますが、金浦は1学年1学級となっています。

今後の1年生の数は、令和9年以降はすべての小学校で1学年1学級となる可能性が高く、複式学級の可能性も生じています（表3参照）。中学校では、令和14年以降は象潟、仁賀保も1学年1学級となる可能性が高くなっていて、令和17年には市内3校すべてで1学年1学級となる見込みです。

計画期間と基本方針

計画期間は、令和6年度から令和15年度までの10年間を展望して策定しています。令和10年度までの5カ年を前期として小学校の適正化を図り、その後令和15年度までの5カ年を後期として中学校の適正化を図るとともに、出生数や児童生徒数の状

況、環境の変化を踏まえた計画の見直しを行います。

適正化の基本方針は、令和5年3月に学校環境適正化検討委員会からの提言書を尊重して、その内容は次のとおりです。

- 適正化の実施にあたっては、よりよい教育環境を子どもたちに提供することを最優先とし、長期的な見直しをもって行います。
- 複式学級は学習活動が制限され、多様な学習活動が難しいことや教員の負担が大きいことから、可能な限り編成しないよう努めます。
- 学校は地域コミュニティの中核であることから、学校の統廃合を行う場合は、地域とのつながりの維持など配慮に努めます。
- 統廃合にあたっては、各学校が持っている風土や文化、特色ある教育活動について、統合後の教育活動の中で継続されるよう配慮します。

適性規模の考え方は、小学校は学習活動やグループ活動を効果的に行うことができ、かつクラス替えが可能な学級数として1学年2学級以上とし、中学校はすべての教科において専門教科の免許を有する教職員の配置が見込まれる1学年3学級以上を適正規模とし、この基準に近づけることを基本とします。

小中学校再編の概要

小学校は、地域への影響の大きさを考慮し、旧町単位で1校を存続させることとし、平沢と院内の統合を

図ります。現在の平沢小学校を統合校舎とし、令和10年4月の統合を目指します。令和6年度中に学校統合準備委員会（仮称）を設け、学用品、年間行事予定、PTA組織統合などの調整を行いながら、令和9年度にかけて既存校舎や屋内運動場の改修、スクールバスの発着場等の整備を行います。

中学校は、現3校を1つの中学校に統合・再編するものとし、その時期については2校が1学級化となる令和14年4月を目標とします。統合校舎の位置は、人口や生徒数、通学距離、通学手段、周辺施設の状態等の実状把握や分析をするなど、多方面から多角的な視点をもって判断する必要があります。現時点では示さず学校統合準備委員会（仮称）を設置する令和9年度までに決定することとしています。

今後も、本計画の周知や理解を進められるような機会を設けてまいります。

表1 市内小学校児童数の推移と見込み

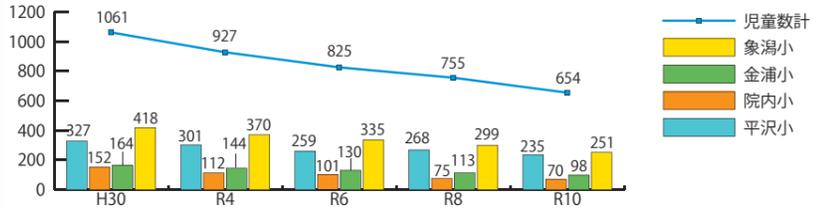


表2 市内中学校生徒数の推移と見込み

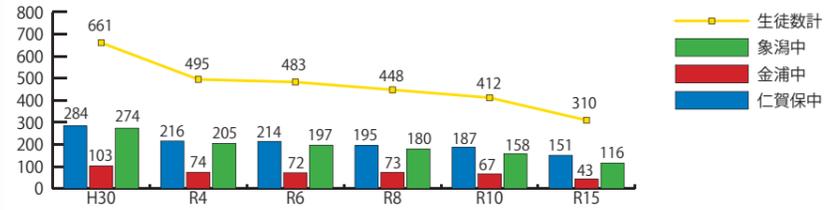
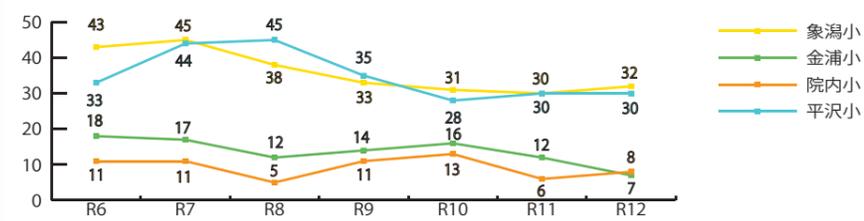


表3 今後の小学1年生の数



基本計画はこちら



問合先 教育総務課 ☎ 38・22259
学校教育課 ☎ 38・22266